

平成 23 年度 事業計画について

県民会館、県立博物館及び県立美術館の管理業務について、引き続き指定管理者として、施設の適切な管理運営にあたるとともに、県民会館の自主事業や埋蔵文化財センターの発掘調査業務、博物館及び美術館の教育業務等に積極的に取り組むこととし、以下の事業を計画します。

県民会館においては、芸術関係団体、報道機関、公立文化施設等との連携を図るとともに、県民のニーズを反映した公演等を実施します。

自主文化事業では、参画型・育成型事業として、「岩手県民オーケストラ演奏会」や、3年間の集大成として「ぎ・CLASSIC'11『魔法の笛』」などの公演を行うほか、多様な県民の要望に応えるため鑑賞サービス型事業として「ミュージカル「アテルイ」、松竹特別公演『松竹喜劇まつり』」をはじめ、「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」や西本智美指揮「クリスマス・アダージョ」などの公演を行い、より多くの県民に舞台芸術の鑑賞の場を提供します。

埋蔵文化財センターにおいては、盛岡南新都市土地区画整備事業などの開発事業に係る 32 遺跡 108,050 m²の緊急発掘調査を行います。

また、「埋蔵文化財展」、「遺跡報告会」等を開催するなど、文化財保護思想の普及に努めます。

博物館においては、「土偶の世界～縄文人のころ～」展をはじめとする企画展 2 本、「砂～砂粒から大地をさぐる～」展をはじめとするテーマ展 4 本のほか、移動展を開催します。

また、博物館まつりや講演会、講座、セミナー、観察会等の教育普及事業を例年同様に実施するほか、「県博出前講座」など、学校教育との連携事業の充実に努めます。

美術館においては、展示事業として館所蔵作品による常設展（第 1 期～第 4 期）とともに「福田繁雄大回顧展」、「フェリックス・ティオリエ写真展」、「開館 10 周年記念舟越保武展」など 6 つの企画展を開催、そして県北・沿岸地域を対象に「ワンデイ・ミュージアム・ツアー」事業を実施し、内外の優れた美術作品の鑑賞機会を県民に提供していきます。

また、教育普及事業として展示関連の講演会やワークショップ、作品解説等。スタジオプログラムとして「油絵体験講座」や「アートデオヤコ」等。そして

美術プログラムとして「ミート・ザ・アーティスト」や「学芸員講座」等、様々な事業を展開し教育普及を具体化していきます。

更には、自主事業として「美術館まつり」や「ミュージアムコンサート」など、県民が気軽に足を運び美術館に親しんでもらえるイベントを実施し、一層の利用促進につなげていきます。

総務部においては、小学生を対象に文化体験の機会を提供するカルチャースクール事業や文化講演会を実施します。

また、県から委託を受け芸術文化団体と連携し、岩手芸術祭を開催します。

文化振興基金については、県の文化芸術基本条例を基に従来よりも拡大し、文化団体による芸術文化の振興及び活動基盤の整備並びに文化財の保護活動に対する奨励、援助を積極的に行います。